

露地
たんかん

南さつま市 橋本 武志さん(34歳) 石川県出身ターナー

設備投資が比較的少なくて、高収益な果樹での就農に決めた!

研修先

南さつま市農業公社(自然農法・オーガニック野菜推進委員会)

所在地及び連絡先

南さつま市加世田川畑2648

電話: 0993-76-1603

<研修作物>

たんかん



<新規就農を志した経緯・背景>

- ・ 庭師業として起業し経営を行っていたが、顧客の望む構想と自分が造りたい庭とのギャップを感じていた。そのような中で、自然環境を維持した農業に興味を持ち、全国を行脚しているうちに、南さつま市の環境負荷低減農業の取組にたどり着いた。
- ・ 南さつま市では、環境負荷低減農業の研修が多様な作物で行われており、新規就農向けの研修に対する充実した支援もあることから、南さつま市で農業研修生となった。
- ・ 当初、野菜等での就農も考えたが、設備投資が比較的少なくて、収益性が高い果樹で就農することを決めた(南さつま市笠沙町にたんかんの樹園地1haを購入済)。

支援策の活用例

- ・ 南さつま市新規就農者就農研修支援事業(年額150万円)を活用し、研修中の生活費、資材費等を確保。就農後は、国の経営開始資金を活用する予定。

これまで苦労した点

- ・ 特になし。

研修して良かった点

- ・ 環境負荷低減の農業研修について、選択肢が多くて迷うぐらい多くの作物を学ぶことができた。
- ・ 研修終了後、即就農できるよう、先輩農家などから農地の確保に向けた助言・指導があった。
- ・ 野菜等では、独立就農するのに相応の面積、機械が必要となるが、設備投資が比較的少ない高収益な果樹なら安定した経営が可能。

就農に向けた今後の目標

【研修期間】(令和5年8月~令和6年7月)

- ・ コメ、野菜、果樹の有機栽培管理技術の習得。
- ・ 有機栽培農家の下で、実践的な農業研修を実施。
- ・ 一時里芋生産も考えたが、収益性を考慮して2月初めにたんかん樹園地1haを取得。

【就農後】(令和6年8月~)

- ・ 近隣の先輩農業者を通じて、関東や関西卸売事業者を紹介。
- ・ 現在樹木本数は、400本程度であるが、30~50年の樹木も多いことから、改植を計画し、作業を進めている。
- ・ 今後は、有機JAS認証取得も検討。

就農を目指す方へのアドバイス

- ・ 適地適作に徹すること。
- ・ 環境に負荷をかけない農業を目指してほしい。
- ・ 地域で育まれてきた作物や農地の特性を活かした農業生産を目指してほしい。